

研究に関するホームページ上の情報公開文書

本研究は、個人を特定できない状態で情報を取り扱うため、研究対象者の皆様からの同意は倫理指針上必要とされていませんが、いつでもお申し出に応じて研究対象者から外させていただくことができます。研究対象となっているかもしれない方で研究参加を希望されない方は、下記相談窓口にお問い合わせください。

研究課題名：理学療法士と作業療法士の卒前・卒後における臨床技能の効果的な教育手法に関する研究

研究機関：藤田医科大学 保健衛生学部リハビリテーション学科

研究責任者：藤田医科大学 保健衛生学部リハビリテーション学科 教授 金田 嘉清

研究の目的・背景

近年の医療技術の高度化や患者の医療関心の向上によって、理学療法士・作業療法士の効率的かつ効果的な教育システムの構築は急務な課題となっています。藤田医科大学保健衛生学部リハビリテーション学科は、理学療法士・作業療法士への卒前・卒後教育に対して様々な取り組みを行っています。しかし、これまでの取り組みや教育手法の効果検討は、各介入効果を短期的に検証するのみであり、卒前から卒後への関係性や教育効果の持続性については検討されていませんでした。本研究は、理学療法士・作業療法士への卒前教育が卒後教育にどのような関係性を認めるのか、その持続効果は認めるのか、網羅的かつ長期的に調査し、効果的な教育手法を検討する事を目的としています。

研究対象者

2019年から2028年の期間に藤田医科大学保健衛生学部リハビリテーション学科へ入学した学生と既卒者および藤田医科大学病院・藤田医科大学ばんだね病院・藤田医科大学七栗記念病院・藤田医科大学岡崎医療センターと関連施設の入職5年以内の若手療法士（理学療法士、作業療法士）です。年齢、性別は問いません。

対象施設名

藤田医科大学病院 リハビリテーション部

藤田医科大学 ばんだね病院 リハビリテーション部

藤田医科大学 七栗記念病院 リハビリテーション部

藤田医科大学 岡崎医療センター リハビリテーション部

辻村外科病院 リハビリテーション部

河村病院 リハビリテーション部

花の丘病院 リハビリテーション課

京都リハビリテーション病院 リハビリテーション部

脳神経リハビリ北大路病院 リハビリテーション部

研究方法

本学科の教育課程から得られる医学知識、医療技術、臨床実習記録、卒後 OSCE データ等を解析対象とします。具体的には、単位認定試験成績、OSCE 成績、臨床実習成績、国家試験成績、卒後 OSCE 成績、臨床技能の到達度等を集積し教育効果や各成績間の関係性、長期効果を検証します。例えば、「OSCE 特別講義の効果を検証する」、「CCS を用いた臨床実習体制の教育効果を検討する」等を考えています。また短期的なデータを長期的に分析し関係性も検討します。例えば、「1年時の単位認定試験成績と2年時の OSCE 成績や臨床実習成績との関係性を検討する」、「卒後 OSCE 成績と卒前 OSCE 成績との関係性を検討する」等を考えています。なお、本学の学生が研究へ不参加あるいは途中で参加を取りやめることにより、学業成績などにおいて不利益な取扱いを受けることは決してありません。

研究期間

倫理審査委員会承認日 ~ 2030年3月31日(予定)

研究対象者の人数

約1,500名

利用する情報

単位認定試験成績、OSCE 成績、臨床実習成績、国家試験成績、卒後 OSCE 成績、臨床技能の到達度等

個人情報の取り扱い

この研究に関するデータは、あなたのお名前を識別コード(文字や数字を組み合わせたもの)に置き換えるなど個人を特定できない様に管理します。この研究で得られた結果は、学会や医学論文などに公表される場合がありますが、その際は識別コードに置き換えられた情報のみが公表されるため、プライバシーは保護されます。

データの管理・保管は本学科で行われ、藤田医科大学保健衛生学部大学8号館701教室内の鍵のかかる棚にて保管します。

研究計画書及び研究関連資料の入手又は閲覧方法

研究のより詳しい内容をお知りになりたい場合は、他の研究対象者の個人情報保護やこの研究の独創性確保に支障がない範囲で、資料を閲覧していただくことが可能です。希望される場合は、下記問い合わせ窓口にお申し出下さい。

問い合わせ窓口

保健衛生学部リハビリテーション学科 教授 櫻井宏明

第1版 2024年11月1日 作成

メールアドレス : hsakurai@fujita-hu.ac.jp 電話 : 0562-93-9000